個別ゼミ概要（WEB掲示用）

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」			
ゼミ名	ヘルスケア＆イノベーション～企業訪問を通じて人生キャリアも考える体験型ゼミ～			
講師幹事名	城間　波留人		大学教員	
学　期	2024 年(春夏)・秋冬	開講時間	水曜　4～5時限	

【授業の目的・到達目標】

100 兆円規模といわれる巨大産業のヘルスケア業界。少子高齢化をむかえる日本は、ヘルスケア・医療の課題先進国です。ヘルスケアビジネス最前線の動向を一橋卒業生の先輩から直接学び、各企業が具体的にどのようなイノベーションを考えているのかを知り、ディスカッションします。日本の未来を創造していくこの業界で、イノベーションを起こしたい一橋生のご参加をお待ちしております！！

1. ヘルスケア・医療業界構造、業界動向を学ぶ
2. 各領域でのイノベーションの取り組みを学ぶ
3. 講師から、キャリア形成、生き方、失敗談などを学び、ゼミ生の今後の成長に繋げる

【上記目的・目標達成方法】

- 第一線で活躍している講師から現場の最前線を感じる
- 講師の話を踏まえて、積極的に質問し、ゼミのメンバーとのディスカッションを通じて体得する
- ゼミ生同士で積極的にコミュニケーションを取り合い、学び合う

【評価方法】

- 出席重視(現場の最前線でご活躍の講師にご多忙の中お時間いただいているので、原則全日程参加できる方のみ応募ください)
- ゼミ運営や授業に積極的に取り組む姿勢
- 自分の目標に対して成長できたか
-

※会社訪問が多いため、水曜３限を取得される方は開始時刻に間に合わないことがある点、ご留意ください。

【授業の内容と計画】　役職は 2024 年 3 月時点

月日	講師名	卒年	社名・役職	講義内容
2024 年 4 月 24 日	城間波留人	平.14 商学部 石野ゼミ	株式会社メディウィル　代表取締役社長 ヘルスケア＆イノベーションゼミ　社会人幹事 2002 年ゴールドマン・サックス証券に入社。資本市場本部、戦略株式運用部(GSPS)に従事。2006 年に医療業界に特化したデジタルマーケティングソリューション事業を推進するメディウィルを創業。2014 年に医療情報 Web メディア「いしゃまち」、2018 年には「いしゃまち病院検索サービス」をリリースし、KIRIN Accelerator2018 に採択され、製薬・医療機器メーカー向けの疾患啓発事業に注力。	ヘルスケア＆イノベーションゼミ導入 メディウィルのイノベーションの取り組み 起業のリアル・キャリア・人生相談 @日本橋
2024 年 5 月 8 日	宮本　剛	平.15 年 商学部 挽ゼミ	伊藤忠商事株式会社　情報・金融カンパニー　情報・通信部門フロンティアビジネス部 / TXP Medical 取締役 2003 年に伊藤忠商事入社。伊藤忠商事で事業開発を行うと共に、伊藤忠テクノソリューションズ（ヘルスケア IT）、エイツーヘルスケア（医薬品開発受託）、ベルシステム 24（ヘルスケア CRM）等への出向、大学病院と共同でのガン検査センター運営などを経験。伊藤忠商事フロンティアビジネス部にて医療・ヘルスケア領域の投資・アライアンス・事業開発を担当。現在は伊藤忠商事の持分法適用会社である TXP Medical 社の取締役として医療データビジネスを担当。	伊藤忠のヘルスケア事業について 投資・M&A 事業について キャリア・就活・人生相談 @伊藤忠商事東京本社(外苑前駅)
2024 年 5 月 15 日	鐘江 康一郎	平.7 商学部 花輪ゼミ	株式会社クリプラ　代表取締役 東京医科歯科大学　副理事・特任教授 兼業農家 1995 年 社員わずか 20 人ほどのベイン&カンパニーに入社。医薬品や自動車部品などのプロジェクトに従事。日本オラクルに転職し当時最先端のネットワークコンピューター（NC）のマーケティングを担当。社長室在籍時は経営学の大家ピーター・ドラッカー氏と食事をともにする僥倖に恵まれる。その	1. 病院経営は面白い 2. キャリア相談 @東京医科歯科大学(予定)

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

			後、GEを経て31歳で医療経営の世界へ。医療法人健育会で日本の医療現場を経験した後、シアトルの University of Washington で病院経営修士（MHA）を取得。シアトルにある Swedish Medical Center で1年間働いた後、2007年に帰国して聖路加国際病院 経営企画室へ。6年半の在籍期間中に医業収入 30%増加を達成。2013 年クラウド電子カルテの会社を起業。2020 年東京医科歯科大学の学外理事に就任。2022 年兼業で葡萄農家を開始。	
2024年 5月22日	淺野 正太郎	平.17 法学部 浦田ゼミ	株式会社 Save Medical 代表取締役社長 2005年 株式会社リクルート入社：営業・企画・海外事業開発・VC子会社（U.S駐在）・M&Aチームに従事。 2017年 日本医療機器開発機構（現 Sanamedi）：事業開発ディレクター（デジタルヘルス担当）。 2018年 株式会社 Save Medical：創業。日本初の糖尿病アプリ治験の実施。複数 Digital Therapeutics（治療用アプリ、DTx）を大手企業と共同開発中。 2018-2021年 聖路加国際大学公衆衛生大学院（MPH）を修了し、疫学の基礎を学ぶ。研究分野はデジタルヘルスを社会実装するための臨床課題の把握・エビデンス作り。	1. SaMD（ソフトウェア医療機器）業界の海外/国内トレンドと未来 2. 異分野大手企業からのデジタルヘルス起業 3. キャリア・就活・人生相談 @三越前事務所
2024年 5月29日	長嶺 由衣子	平.17 社会学部	厚生労働省老健局老人保健課 課長補佐 東京医科歯科大学 国際健康推進医学 非常勤講師 一橋大学卒業後、3年次学士編入学で長崎大学医学部に進学し医師免許を取得。 米国の臨床研修プログラムを持つ沖縄県立病院での医師臨床研修後、ドクターコトーのような島で1人の離島医師勤務を経て、ロンドン大にて修士(疫学)、千葉大学で医学博士(公衆衛生学)を取得。 文系のバックグラウンド、量的データの収集や分析のノウハウ、臨床経験を活かし、感染症をテーマとする国際機関、日本の研究機関での高齢者施策に関する研究と自治体コンサル、コロナ禍での現場診療対応等を経て、今年度より厚生労働省にて高齢者施策に携わる。2児の母。	1. 一橋大学を卒業しなぜ医師を目指したか 2. 社会科学と医療の接点 3. 文系医師のリアル・キャリア・人生相談 @厚生労働省
2024年 6月5日	田口 健太	平16 経済学部 鴇田ゼミ （平18 経済学研究科 佐藤主ゼミ）	KDDI株式会社 サービス統括本部 シニアエキスパート 2006年3月、一橋大学大学院 経済学研究科 応用経済 専攻修了。専門は医療経済学。同年4月より野村総合研究所に入社し、ヘルスケア領域のコンサルタントとしてプロジェクトに従事。2019年6月よりKDDIに入社。ヘルスケア事業の担当部長として事業立上げをリードし、現在も引き続き同領域の事業開発を推進中。ほか、一橋大学大学院 非常勤講師も務める。	1. 健康・医療領域のデジタル化動向 2. KDDIにおける健康・医療DXの取り組み 3. キャリア・就活・人生相談 @KDDI 虎ノ門オフィス（予定）
2024年 6月12日	石井 俊之	平.1 経済学部 山崎ゼミ	DHG Pharma CEO (ベトナム) 海外現地法人責任者（主なバックグラウンドは M&A） （三菱商事⇒アステラス製薬㈱事業開発部部長⇒ 大正製薬インドネシア株式会社社長を経て現職）	製薬業界 M&A 動向 大正製薬の海外事業について キャリア・就活・人生相談 (講義はオンラインを予定)
2024年 6月26日	内海 雄介	平.14 東京大学 工学部	株式会社フロンティア・フィールド 取締役 COO 日本IBM、モニターグループ（現モニターデロイト）、エムスリー、ノバルティスファーマを経て現職。イノベーションを通じた「患者中心医療の実現」「医療従事者の方々への貢献」を胸に2022年4月よりフロンティア・フィールド社に参画し、新米COOとして奮闘中。（https://note.com/utsumic）専門領域は医療IT領域における戦略立案・実行、事業開発、組織改革。	なぜ医療DXが必要なのか スタートアップとイノベーションに関する考察 キャリア・就活・人生相談 @本社(浜松町駅) 東京都港区芝浦1丁目1番1号 浜松町ビルディング 14階

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

	2024 年 7 月 3 日	芳賀　聡	昭 61 経済学部 美濃口武雄ゼミ	日本メドトロニック株式会社 バイスプレジデント CRM Japan （新日鉄⇒ペンシルバニア大学ウォートン校へ社費留学 MBA⇒日本メドトロニック CFO⇒CVG North Asia バイスプレジデントを経て現職）	1. 医療機器業界構造と動向 2. 日本メドトロニックイノベーションの取り組み 3. キャリア・就活・人生相談 @キングスカイフロント　イノベーションセンター

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

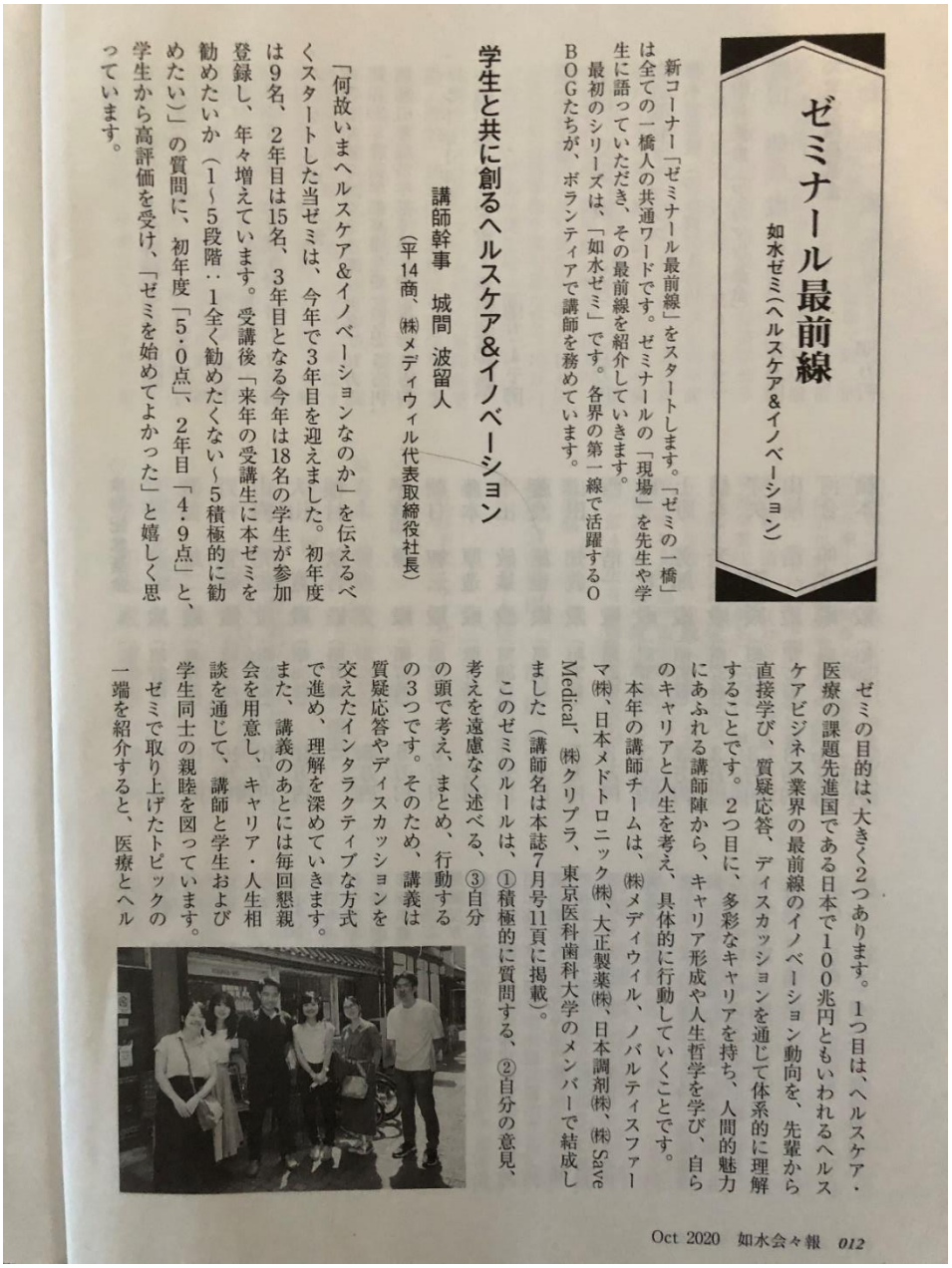
【受講生に対するメッセージ、希望】
自分自身や家族など大切な人の健康を守ることは、世界中の人々が追い求めている真理です。人は生まれてから死ぬまでに必ず、ヘルスケア・医療業界にお世話になります。直近では、2020 年から猛威を振るったコロナ渦によって、より医療の大切が身近に感じたと思います。こうした業界の最前線を一橋大学の先輩から直接学び、また各企業のイノベーションの取り組みを知り、そしてキャリアをどのように形成していかを考えるきっかけにしていきます。

感受性が豊かで、将来の選択肢が無限にある大学時代は、柔軟に吸収し、刺激を受け、成長していくチャンスです。ヘルスケア＆イノベーションゼミを通じて、一人でも多くの明るい未来を創造できる人材を育てていきます。

のべ約 70 名の学生が参加してきたヘルスケア＆イノベーションゼミも、2024 年は 7 期目となります。ゼミを終えた後は過去の優秀なゼミ生とのつながりを作るヘルスケア＆イノベーションゼミの OB・OG 会も定期的に開催しています。過去の卒業生は、メドトロニック、三菱商事、日本生命、リクルート、トヨタ、アクセンチュア、外資系金融機関をはじめ多様な業界に就職したり、起業して活躍しているゼミ生もいます。ゼミのコンセプトに賛同し、積極的に学び合いたい学生の参加を心よりお待ちしています。

社会人講師代表幹事
株式会社メディウィル　代表取締役社長　城間　波留人

2020 年の如水会報(一橋大学 OB・OG 会報)にヘルスケア＆イノベーションゼミの取り組みを紹介しました。



ゼミナール最前線
如水ゼミ（ヘルスケア＆イノベーション）

新コーナー「ゼミナール最前線」をスタートします。「ゼミの一橋」は全ての一橋人の共通ワードです。ゼミナールの「現場」を先生や学生に語っていただき、その最前線を紹介していきます。
最初のシリーズは、「如水ゼミ」です。各界の第一線で活躍するOBOGたちが、ボランティアで講師を務めています。

学生と共に創るヘルスケア&イノベーション

講師幹事　城間　波留人
（平14商、㈱メディウィル代表取締役社長）

「何故いまヘルスケア&イノベーションなのか」を伝えるべくスタートした当ゼミは、今年で3年目を迎えました。初年度は9名、2年目は15名、3年目となる今年は18名の学生が参加登録し、年々増えています。受講後「来年の受講生に本ゼミを勧めたいか（1~5段階：1全く勧めたくない~5積極的に勧めたい）」の質問に、初年度「5・0点」、2年目「4・9点」と、学生から高評価を受け、「ゼミを始めてよかった」と嬉しく思っています。

ゼミの目的は、大きく2つあります。1つ目は、ヘルスケア・医療の課題先進国である日本で100兆円ともいわれるヘルスケアビジネス業界の最前線のイノベーション動向を、先輩から直接学び、質疑応答、ディスカッションを通じて体系的に理解することです。2つ目に、多彩なキャリアを持ち、人間的魅力にあふれる講師陣から、キャリア形成や人生哲学を学び、自らのキャリアと人生を考え、具体的に行動していくことです。
本年の講師チームは、㈱メディウィル、ノバルティスファーマ㈱、日本メドトロニック㈱、大正製薬㈱、日本調剤㈱、㈱Save Medical、㈱クリプラ、東京医科歯科大学のメンバーで結成しました（講師名は本誌7月号11頁に掲載）。
このゼミのルールは、①積極的に質問する、②自分の意見、考えを遠慮なく述べる、③自分の頭で考え、まとめ、行動するの3つです。そのため、講義は質疑応答やディスカッションを交えたインタラクティブな方式で進め、理解を深めていきます。また、講義のあとには毎回懇親会を用意し、キャリア・人生相談を通じて、講師と学生および学生同士の親睦を図っています。
ゼミで取り上げたトピックの一端を紹介すると、医療とヘル

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

スケアの違いを医療保険制度の中での業務と、保険外での業務に分けて説明しました。医療従事者、製薬、医療機器が医療保険制度上で原則認可されたサービスを提供している前提を知ることで、各業界でのイノベーションの工夫の理解が深まります。例えば、日本メドトロニック社で、医療機器認可取得のために省庁と交渉するＨＥＯＲという業務担当者の話に対しては、価格の妥当性、値決めの根拠に関する鋭い質疑が飛びました。

本年は、すべてオンライン講義となりましたが、学生からは以下のような声が寄せられました。

「正直なところ、当初はオフィス訪問がなくなりガッカリしていたのですが、毎回深いところまで質問をすることができ、想像の数百倍の学びを得ることができました。」

「キャリアについてもどの講師の方々からも、ご自身の考えを建前無しに伺うことができ、建前無しだとわかっているからこそ自分の心に残っているものが多いです。」

「最終回が終わったあとのゼミ生のグループラインでも、ゼミ生同士刺激を受けていたという話が広がっていました。今回はオンラインでしたが、むしろお互いの話をじっくり聞くことができたのではないかと感じています。」

このように如水ゼミを通じて、ヘルスケア&イノベーションを学ぶだけでなく、自分自身のキャリアや人生について深く考えるきっかけを提供し、学生の真の成長を後押しすることが、本ゼミの最大の付加価値となっています。

受講したゼミ生の声

三枝優子（経４）

本ゼミの受講を決めた理由は、文系の一橋生には馴染みのない医療業界で、講師の方々がどのように働かれているか興味があったからです。各講義では、医療業界のしくみや昨今の日本の医療現場の状況、各講師の多様なキャリアの考え方などを学ぶことができました。講師の方々自らが培ってきたスキルや力を活かし、医療業界で貢献されていることに衝撃を受けました。

和嶋洋介（社３）

就活を始めるにあたり、具体的な業界のみならず「社会人として働く」ことへの理解を深めたいと思っていたところに見つけたのが本ゼミでした。業務や専門も多岐にわたる本ゼミ講師陣のプロフィールに惹かれ、受講を決めました。講師と学生が一体となって共に一つの授業をつくりあげていくところが本ゼミの特徴だと思います。その中で業界の知識に加えて、社会人としてのふるまいについても多く学びました。

藤原輝（経３）

自分の周りには就社し生涯勤め上げる大人が多いせいか、何となく縁遠いと感じていた多様な経歴を持つ講師陣に逆に惹かれ受講を決意しました。「T字型キャリア（幅広い精通分野を持つ一方、特定分野については深い知見を有する）を構成することで、ピボット（新規領域に踏み出す際に自分の経験や強みを生かす）しやすい人材になることが重要」というお話が特に印象的で、これを軸に自らのキャリアを真剣に考える所存です。

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

ヘルスケア＆イノベーション如水ゼミ OB･OG 会の様子@谷保はたけんぼ

【2023 年受講者の声】

2023 年受講者 8 名に対して、受講後に「来年の受講生にヘルスケア＆イノベーションゼミを勧めたいか (1～5 段階:1 全く勧めたくない～5 積極的に勧めたい) 」と質問したところ、平均「5.0」というアンケート回答結果をいただきました。

[商学部 3 年、男性]

初回に城間さん（社会人幹事）から「このゼミが終わるころには君達全員が成長しているはずだ」という言葉を受けたことを覚えています。正直その当時は半信半疑でしたが、実際に今振り返ってみるとたしかにこのゼミを通して多くのことを吸収し、アウトプットできるようになっていました。医療・ヘルスケア領域に興味がある学生はもちろんですが、今は興味がない学生であっても受講をおすすめします。普段触れない業界の第一線を行く方々のお話を聞くことができるだけでなく、自身の今後のキャリアや価値観についても考える、いいきっかけになると思います。

[商学部 3 年、男性]

このゼミは、就職活動間近になってキャリアについて考え始める 3 年生だけでなく、自分は残りの3年間どんな大学生活を送りたいのかを描けていないような2年生にとっても、各自が抱える様々な問題について真剣に考える機会になります。これらの問題を 1 人で解決しようと思っても、大抵、自分に都合の良いように解釈して終わってしまう人がほとんどですから、一橋の先輩方が経験してきた選択肢に触れ、学生同士で自由闊達に意見を述べることで、じっくりと時間をかけて考えることができます。よく、単位がもらえないことを理由に如水ゼミを受講したくないという声を聞きますが、「授業の良さ＝単位の数」ではありませんので、騙されたと思って一度このゼミを受講することを強くお勧めします。

[商学部 3 年、男性]

ヘルスケア＆イノベーションは、去年に引き続いて如水ゼミ２度目の受講となりました。毎年様々な方面の知見だけではなく、人生におけるたくさんの気づきが得られました。ヘルスケア＆イノベーションゼミの特徴としては、ゼミ生の距離の近さだと思います。他のゼミでは、これだけゼミ生が仲良くなることはなかったです。その理由を探すためにも、皆さんぜひこのゼミを選んでみてください！きっとたくさんの学びができると思います！

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

[2 年、女性]
後輩の皆さんには、参加して後悔のないゼミだと自信を持って言うことができる。一橋にいると中々お話を聞くことができないような業界の方々のお話はとても興味深いし、キャリアについて考える良い機会を得られる。自分の視野を広げるためにも、ヘルスケア＆イノベーションゼミをぜひ取ってみて欲しいと思う。

[経済学部 2 年、男性]
如水ゼミに入るのが初めてという人にお勧めです。このゼミの講師の方々は特に様々なキャリアを積んできた方たちであり、医療業界そのものにはまだ興味がなかったとしてもこれからのキャリア選択において欠かせない知見を沢山共有してくださいます。自分が何をやりたいかはっきりしていない人ほど取ってみて欲しいです。

[法学部 3 年、女性]
単位や CAP 制などの懸念点を理由に如水ゼミを受講しようか迷っているくらいなら、絶対に受講したほうがいい。そしてヘルスケア業界に少しでも興味があるなら、如水ゼミでどれを選んだらいいのか分からないなら、ヘルスケア＆イノベーションゼミを選んだほうがいい。私は実際、このように悩んだ末に、ヘルスケア＆イノベーションゼミの OB・OG の方々のメッセージを読んで、このゼミを受講することに決めました。このゼミではヘルスケア・医療について業界の先端でご活躍されている講師の方々から直接お話を伺うことができます。それだけでなく、キャリアのこと、価値観のこと、多様な経験を積まれた色鮮やかな人生のことを、知ることができます。少し大袈裟に聞こえるかもしれませんが、とある講師の方のお話が腑に落ちたことで、ずっと決めきれていなかった進路についての迷いがなくなった、なんてこともありました。とにかく、自分から積極的に関わる姿勢を持てば、心の底から受講してよかったと思えること間違いなしの講義を、城間さんをはじめとする講師の方々が準備してくださっています。いち OG として、皆さんの参加をお待ちしています！

[法学部 3 年、男性]
何の授業毎回地点変わる？何のゼミ頻繁にご飯会を行う？異なる業界の俊傑たちと出会える場はどこにある？！答えはいつもひと一つ！如水ゼミのヘルスケア＆イノベーションゼミである。テーマに興味あるのはもとより、色んなゼミに対して迷っているにせよ、あまり興味がないにせよ、このゼミを試してみる？何しろ、ここから得られるのは知識だけではなく、自分の人生のブループリントをもう一度ちゃんと思慮する契機とアドバイスしてくれる先生や友人たちでもいる。退屈な聴講型授業に飽きたら、多様な授業形式を持っているヘルスケアゼミに入りましょう。あなたを裏切らないと誓います

[社会学部 2 年、女性]
医療業界自体に特別関心を持っている訳ではなくても、受講することをおすすめします！私自身も受講前は志望業界は医療業界ではありませんでしたし、他の受講生の方もそういう方は少なくありません。私はこの如水ゼミを受講して、今までは考えてもみなかった医療業界が志望業界の一つになりましたし、キャリアを考える上で何を軸としたいか、そのためにどう大学生活を過ごしたいか、など自分自身の人生について考える機会になりました。みなさんも受講して後悔はしないと思います。迷っていたらぜひ受講してみてください！

【2022 年受講者の声】
2022 年受講者 11 名に対して、受講後に「来年の受講生にヘルスケア＆イノベーションゼミを勧めたいか (1～5 段階:1 全く勧めたくない～5 積極的に勧めたい) 」と質問したところ、平均「4.9」というアンケート回答結果をいただきました。

[商学部 3 年、男性]
人は自分の利害を超えた大きなものにどれだけ本気になれるかで、その人の人間としての大きさが決まると思っています。このゼミの講師の方はそういう意味での大きな人が多いです。後悔はしないと思うのでぜひ受講して下さい！

[商学部 3 年、男性]
ヘルスケアに興味がある人、イノベーションに興味がある人、またどちらにも興味はないが如水ゼミの分野選択に困っている人は、ぜひこの授業を受講していただきたい。ほかの如水ゼミのネガキャンをするつもりはないが、あるゼミを受講していた人は、オンラインが多い、その業界のことをあまり好きになることができなかった、ゼミ生と全く友達になれなかった等の発言をしていた。しかしヘルスケア＆イノベーションのゼミはいろいろな場所へ出向き、毎回講師の先生も異なるため新鮮な気持ちで授業を受けることができ、その移動時間でゼミ生との交流も深めることができた。また、ヘルスケア業界のことをあまり知らなくても講師の方々の話が面白く、またわかりやすかったため、自分の中でヘルスケアという分野に対する興味が一段と上がり、視野が大きく広がった。未知の領域だからこそ積極的に受講することで得るものは大きいと思うので、ぜひ受講をしていただきたい。

[商学部 3 年、女性]
社会に出て経験を積んでいる様々な人の話を聞けました！実際に外に出て、企業や衆議院会館、医科歯科大学などに行き、話を聞くのはとても貴重な経験になりました。スタートアップから、大企業、外資系企業、議員、医者など、多様な講師の方と交わることができます。講師の方たちの歩ん

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

できたキャリアの話を聞き、今後社会に出るために何をしたいのか考える本当に良いきっかけとなるので、ちょっとでも気になった人はぜひ参加してみてください！

[商学部２年、男性]
医療業界に興味がある人はもちろん、初めて如水ゼミを受講する人やキャリアが明確に定まっていない人におすすめです。僕は、少ししかかかわったことはないですが、こんな風になりたいなというロールモデル的な存在の人に出会えたことが参加してよかったことでもあります。新たな出会いと、新たな学びを得られること間違いなしです。

[経済学部３年、男性]
興味関心を問わず，誰にでも本ゼミの履修をお勧めする。
元からヘルスケア業界に興味がある人は，本ゼミで自身の興味を講師の方々にとことんぶつけることが出来る。興味が無い人も，キャリア形成に関わる普遍的な考え方や，誰にとっても重要なヘルスケアに関わる基礎的な知識を学ぶことが出来る。ヘルスケアに関わる知識に関しては間違いなく，他の如水ゼミでは学べない。また，私個人が履修した経験から，ヘルスケアに元から興味がある人ばかりが集まるよりも，様々なバックグラウンドや関心を持った人が集まる方が参加者全員にとって得られるものが大きそいように思う。その意味では，ヘルスケアに興味が無い人ほど強く参加をお勧めしたい。

[経済学部２年、男性]
今、何もやりたいこともなく、なんとなく一橋に来たという学生にぜひおすすめしたいゼミです。もしかしたらこのゼミがきっかけでいままでなんとなく避けてきた理系科目に興味を持つかもしれませんし、逆により文系科目を好きになるかもしれません。ヘルスケア・イノベーションというほかのゼミと違って、文系味が強くなく、堅苦しくない点も興味で志望しやすい点であるように感じます。

[法学部２年、女性]
やりたいことを見つけられていないとか、就職に向けて漠然とした不安を抱えて、でも何をすればいいかわからない‥と悩んでいる人が、一歩進むきっかけになってくれるゼミだと思います。私は、社会人と関わる機会を持てたことと、キャリアについての漠然とした悩みまでも共有できる仲間に出会えたことが、嬉しかったことです。講師の方は本当に素晴らしい方ばっかりでたくさんの刺激をもらえるし、ヘルスケア業界だけの話で終わらず、人生の視野を広げてもらえるのでおすすめです。

[法学部２年、女性]
受講後、必ず自分の糧となるものがついてくる講義の勢揃いなので積極的に受講してみてください！

[社会学部２年、男性]
ゼミの名前が「ヘルスケアイノベーション」なので、確かに講師の方々は医療業界関係の方が多いです。ただ、参加してみると、医療業界というのは医者や製薬会社などの、医療業界と聞いて多くの人がすぐに連想するであろう分野に限ったものではなく多種多様な分野と関連を持っていることが分かります。これに気が付けるというだけでも収穫だと思われます。そして、医療という切り口から、多種多様な分野について知見を得ることができます。なので、医療業界に関心のある方には当然このゼミを薦めますが、自分のように将来の目標ややりたい職業が明確でなくて困っている人にも薦めることができます。実際ゼミ後にでる課題内容等をほかのゼミと比べて見ても、専門的な内容を求められるというよりは、学んだことについて自分がどう考えたかというようなことの方が重視されている印象を受けます。以上より、医療業界に関心のある方に加え将来について困惑している方々はぜひヘルスケアイノベーションゼミを受講してみることをお勧めします。

【経営管理研究科２年、男性】
普段関わりが少ない医療業界に対して、医療機器・製薬・電子カルテ・政策などの多方面から話が聞ける貴重な機会かと思います。イノベーションを起こすためには、自身がどのように行動して発信していくか、実際に起業している方々からのアドバイスがあり、自身のキャリアについて考え直す良い機会になりました。特に講義をしてくださっている先生方が活動的に動かれている方々ばかりなので、論より証拠のような姿が印象的でした。

【経営管理研究科１年、女性】
このゼミは、幹事の城間さんをはじめ、今後このまま生きていたら話す機会がない社会人の方々とお話しすることができます。これは、私たちが今思っているよりも非常に貴重なことで、様々な分野で人脈を作っておくことは人生を豊かにしてくれると思います。学部生の間はどうしても「就活」が頭にちらついて、自分の行きたい業界の話や人に興味を持たざるを得ませんが、もっと長期的な目線で見たときに、このゼミは本当に履修したほうがいいと思います。
特に、今の学生生活に物足りなさを感じていたり、周りの人たちに流されて生きているけどこのままでいいのかな、と思っている人は、このゼミを履修してみてください。このゼミの先生方は学生の時から非常にアグレッシブで、刺激どころか、もはや「このままじゃダメだ！」という焦りすら覚えます。(笑)もちろん先生方の話を聞いて、劇的に自分の行動が変わるわけではないかもしれませんが、自分の生き方や進路について考えるきっかけになります。
どのゼミを履修しても、自分の学ぶ姿勢があれば必ず何かを得ることはできると思います。ただ、このゼミを「ヘルスケアには興味がないから」という理由で選択肢から外さないでください！レジュメを熟読して、本当に自分が学びたいことを基準に選んでみてください(^^)

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

【2021 年受講者の声】
2021 年受講者 9 名に対して、受講後に「来年の受講生にヘルスケア＆イノベーションゼミを勧めたいか (1～5 段階:1 全く勧めたくない～5 積極的に勧めたい) 」と質問したところ、平均「4.7」というアンケート回答結果をいただきました。

[商学部 3 年、男性]
社会人の方の、それも起業している方や、業界内でもそうそうたる方々のお話を聞ける機会は滅多にないからである。業界内に精通している人の生の現場の意見を聞けるので、その業界に興味があるかたは非常に勉強になるのではないかと思う。
また、学習意欲の高い人たちと仲良くなれる、ということも非常に良い点であると実感した。必修でもないこの科目をわざわざ取って学びに来る時点で、かなり意欲の高い学生が集まっていると感じた上に、そういった場所に集まってくる学生は、同年代の中でも非常に優秀であると、質問の仕方などをみて感じた。こういった場で知り合った方々は、その後もなんらかの形で関わりがあると思うので、やはりオフラインの場に出席することは非常に大事なことであると実感したし、自分自身オンラインになってから友達の数も減って、学生生活が学生生活らしくないものになっていたので、こういった場に積極的に参加して、本当に良かったと思う。毎週4時間ほどかけて授業を受け続けるのは大変なことだとは思うが、講義を行ってくださる社会人の方々の方が、貴重なお時間と労力をかけて講演してくださるので、来年この講義を受ける人にも頑張ってもらいたい。

[商学部 3 年、男性]
このゼミの一番の魅力は講師の方々の熱量、魅力にあると思います。私が一番勧めたい人は今やりたいことがなかったり、将来のことを考え始めているけど一歩目の行動が踏み出せないという人です。ヘルスケア業界に興味があり参加したい人はもちろん業界への理解を深めることができますし、私のようにヘルスケアに興味が全くなかったけど先輩に勧められたからという理由で参加した人もキャリアのお話を聞く中で将来について考えるきっかけになり自分の理想像がゼミを受ける前とは段違いに変わると思います。悩んでいたらまず参加してください。後悔しないと思います！

[商学部 3 年、男性]
とにかく早めに受ければ受けるほど身になるゼミだと感じた。私は就活と時期がかぶってしまいあまりゼミに体力を費やせず、また内容も就活前に聞くことができればより現在の就活に生かせるものだと感じた。ぜひ、暇している大学 1 年、大学 2 年の人たちには視野を広げ将来のキャリアを真剣に考える場として受けてほしいと思う。

[商学部 2 年、男性]
如水ゼミは現役の一橋出身社会人のお話を聞ける貴重な機会です。少人数で活動するので講演会と違って近い距離間で講師の方々とコミュニケーションが取れます。ヘルスケア＆イノベーションゼミの講師陣は全員が魅力的な方々で、お話も面白いです。ゼミのメンバーとも仲良くなれるので学年を超えて縦のつながりを得ることができます。企業に訪問することもあり、自分の知らなかった世界を知りことができるし普段の授業よりも面白いです。ゼミ所属に際して何か不安なことがあっても、GPA の計算外なので少しでも興味があれば履修することをおすすめします！

[経済学部 5 年、女性]
まず、興味のある業界が定まっていない後輩がいたら、強くお勧めしたいです。理系が主役になりそうなヘルスケア業界でも、文系出身の方々がこんなにも活躍しているということに刺激を受けると思います。考え方が変わると思います。講義は 4 時間でとてつもない量の情報をインプットしてくださいますが、ゼミ講師幹事の城間さんが初めに「絶対質問して欲しい」と言ってくださったおかげで、理解を深めるにはどうやって質問したらいいだろう、何にスポットライトを当てたらいいだろうと考えながら話を聞くことができます。とはいえ、毎回話を聞くだけなのは面白くないので、積極的に発言したり、積極的にゼミテン同士でディスカッションしてみてください。最初は皆の優秀さに気後れすることもあると思いますが、城間さんはじめ講師の方々はどんな質問にも答えてくださるし、成長をみてくださっています。楽しんでください！

[経済学部 4 年、女性]
医療・ヘルスケアに興味が無い人も、受講することを強くお薦めしたい。意外と文系でも活躍できる場があることを発見できる。また、人間的魅力があふれる講師ばかりなので、最終的に当分野に興味が持てなかったとしても、大きな学びを得られることは間違いない。

[経済学部 4 年、男性]
医療業界に関心がある and/or 医療業界の知識がある人の方が本ゼミを履修する効果が高いと思う。私の周辺にはその条件にあう後輩が何人かいるので、その人たちには積極的に勧めたい。一方で、それ以外の人に対しては、本人の興味に応じて、如水ゼミのどれかの受講を勧めたい。もし、興味のある分野がない、どれが面白そうか分からないという人がいたら、本ゼミを勧める。なぜなら、私自身もそうだったが、未知の医療業界に飛び込んでみることで徐々に興味がわいてくる、面白さを理解できるようになったからだ。

[社会学部 5 年、女性]
私の場合、全くの無知でしたが、聞く姿勢はどうであれば一番吸収できるか、明日から始められる実践はどんなものかと毎週考えながら講義に参加すると、講義が面白くどんどん吸収できる感覚になりました。ぜひ思いっきり学んでください。

[社会学部 4 年、女性]
“ヘルスケア”・“イノベーション”・“キャリア”のどれか 1 つでも気になるトピックがあれば、是非受講してみてください！ 私は、自分のもともとの興

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

味を起点に、このゼミを通して何十倍にも視野が広がりました。また、多様なキャリアを歩まれてきた講師の方のお話とやり取りを通して、自分自身を見つめ直し将来について真剣に考えることができました。

【2020 年受講者の声】
2020 年受講者 16 名に対して、受講後に「来年の受講生にヘルスケア＆イノベーションゼミを勧めたいか (1～5 段階:1 全く勧めたくない～5 積極的に勧めたい) 」と質問したところ、平均「4.9」というアンケート回答結果をいただきました。

[商学部 3 年、女性]
自分のキャリア観、人生観を変えるような大きなインパクトのある講義でした。正直、最初はヘルスケア業界を全く考えていませんでした。しかし、それでも絶対に受けたほうが良いと思います。多様なキャリアを持つ先輩方がどのように選択重ねたのか伺うと、鳥肌が立ちます。自分もこうなりたいと思うと同時に、自分の弱さが浮き彫りになります。これから自分がどうなりたいかを真剣に考える、大きな一歩になることは間違いないです。

[経済学部 4 年、女性]
ヘルスケアゼミの講義では、医療業界の中のしくみや、どのような力を活かして活躍されているか、各講師陣のキャリアへの考え方など、たくさんのことを学ぶことができます。特に、医療業界への業界理解が深まるだけでなく、自分の人生やキャリア、自分に足りない力についてじっくり考えるきっかけになりました。就活を始める一歩としてなど、どんな理由で本ゼミを取るにしても、各講師の話を聞き、自分で考えることでとても有意義な時間を過ごせると思います。

[経済学部 3 年、男性]
このゼミの最大の魅力は、真剣に自分のキャリアについて考えるきっかけを与えてくれる点だと思っています。ヘルスケアという業界に抵抗がある学生も大丈夫です。丁寧にわかりやすく解説してくださいます。何より、講師の方々は多様なキャリアを歩まれており、そういった方のお話を聞ける機会は貴重です。元々日系大手にしか興味がなかった自分自身もこのゼミを契機に、幅広く自分のキャリアを考えることができるようになりました。

[法学部 4 年、女性]
この業界に興味がある方にもない方にも強くオススメします！成長市場であり、メディテックの活用やバイオベンチャーの実情など、ヘルスケア業界の歴史からトレンドまで様々なことが学べます。文系には馴染みが薄い業界ですが、だからこそ活躍できる可能性が秘められています。講師の方との白熱したキャリアセッションも必見です。今年はオンライン開講になってしまいとても残念でしたが、毎回の懇親会で講師の方ともゼミテンともとっても仲良くなれますし、自分の将来について深く考えることができ、非常に密度の濃い時間を過ごせると思います。

[法学部 3 年、女性]
現時点で興味のある分野が決まっていない、ヘルスケアのことについて全く知らないという人におすすめのゼミです！

[社会学部 4 年、女性]
一橋大学に通っている学生にはなかなかイメージしづらいヘルスケア業界。理系出身者が中心に活躍しているようなイメージがある中で文系出身の一橋大学の卒業生がどのように活躍しているのか、そのキャリアパスを聞くことが出来ます。他の業界のゼミと比べても色々な遍歴を経た講師陣の方々でバラエティに富んでいます。今年度は新型コロナの影響でリアルタイムの現場のお話を伺うことも出来ました。

[社会学部 3 年、女性]
ヘルスケア・イノベーションと聞いてイメージがたくさん湧く人はあまりいないですよね。はじめに、ヘルスケアは皆さんが思うよりはるかにキテる業界です！このゼミではヘルスケアに携わる様々な分野の、最先端を走る講師の皆さんから直接お話を伺うことができます。個性豊かな講師陣の現場感溢れる講義でヘルスケア業界のダイナミズムを感じ、急速な変化とそれに抗う力が共存しているこの業界への興味が止まらなくなるはずです。皆さんもぜひこのゼミで新たな知識、講師陣、そして仲間との出会いを掴んでください。

[社会学部 3 年、女性]
このゼミ最大の特徴は、講師の先生方の熱意です。この熱意のおかげさまで私は、ヘルスケア業界に関する知識に全くとどまらない、多くのことを得ることができました。実際に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いゼミがオンライン開講となっても以前のオフィス訪問と同様かそれ以上に中身のある時間を過ごさせていただいた自覚はありますし、大変満足しています。それは、このゼミに対して真剣に向き合い、私たち学生の成長をときに厳しく愛をこめてご指導くださる講師の先輩方の熱い想いがあったからです。現状ヘルスケア業界のことが全くわからなかったとしても、受講することで得られるものは本当に大きいと思います！もし迷っている人がいたら、ぜひ受講してみてください！

[社会学部 3 年、男性]
とても多くのことを学べるゼミでした。理系職のイメージが強いヘルスケア業界において、文系出身者がどのような形で活躍しているのかを、とにかく知ることができます。私は初め、MR ぐらいしか知らなかったため本ゼミを通してキャリアに対するより広い視野を得ることができたと思っています。他にも、様々な経歴をお持ちの講師の方々から講義を受けられるため、自分のキャリア形成に対する考え方も大きく変わると思います。また、オンラインという特殊な状況下にも関わらず、毎授業後に懇親会を開いていただいたため、講師の方からざっくばらんなお話が聞けるだけでなく、学生同士も仲良くなることができました。参加している学生はどの方も志が高いため、まじめな議論ができたり、就職活動の意見交換などもできる点がとてもおすすめです。

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

[社会学部３年、女性]
興味のある業界が定まっていない人にこそ、このゼミをお勧めします！ヘルスケアという文系には馴染みのない分野への理解が深まるのはもちろん、キャリアについての考え方も深まります。今年はオンライン開催でしたが、意欲の高いゼミ生たちとの仲も深まり、ゼミ外でも会う約束をしているくらいです。どのゼミを取るか迷ったら、このゼミを取ってみることをお勧めします。後悔はさせません。

[社会学部３年、男性]
医療やイノベーションに興味がある方に限らず、「なんとなく如水ゼミを取ってみたいけど、興味のある業界がない…」と思っている方も、是非このゼミを受講してみてください！（むしろ、そういった人ほど得られるものは大きいかもしれません…！）素晴らしい講師の方々の多様なキャリアについて詳しいお話を聞くことで、「就職活動」だけにとどまらない、自分自身の人生の歩みについて思いを巡らすことできる良い機会になるはずです。

[社会学部３年、男性]
私は特に社会人として働くことのイメージがついていない皆さんにこのゼミをお勧めします。このゼミで様々なキャリアを歩んできた講師の方々が、社会人として生きる上での選択についてヘルスケア業界の経験を通じて教えてくださいます。ヘルスケア業界を学ぶということだけでなく、今後就職活動を進めていくうえで貴重な経験となると思います。ぜひ 3 年春夏学期の如水ゼミはヘルスケアイノベーションゼミをとることをお勧めします！

[社会学部３年、男性]
このゼミは、「将来に向けて動きだしたいが何をすればいいかわからない人」におすすめです。多様な背景をもつ講師の方々の授業を通して、「生き方」について多くの学びが得られると思います。もちろん、医療ヘルスケア業界についても体系的に学ぶことができ、M&A やマーケティングについてなど他業界に通じるビジネスの知識も得ることができます。ゼミテンや講師の方々との会話の中で自分自身についての理解も深まります。就活や自分の将来について考えたい人は参加をおすすめします。

[社会学部３年、女性]
この如水ゼミを 2 年生から受けることができるのは本当に価値のあることで、都合が合う方や受講しようか迷っている方はぜひ受講するべきだと思います。私は 3 年生の今回が初めての受講だったので、これを 2 年生の時点で受けていたら、もっと早くもっと深く自分の将来を考えることができていただろうと思います。働くことを楽しいと感じ、最前線で活躍されている方のお話を、学生という何でも OK の立場から聞くことができるこの機会をぜひ活用するべきだと思います！

[社会学部２年、男性]
ヘルスケアゼミは熱心でユニークで優しい人たちが集まる空間でした。文系人間で生きてきた私ですが、やりたかったことは意外とヘルスケアや IT なのかなと思うようになりました。これまで普段の生活でスルーしてきた「ヘルスケア」や「医療」の文字に目が留まります。それらが自分事として生き生きとした印象を持つようになります。ヘルスケアゼミで視野が大きく広がったと思います。

[修士２年、女性]
ヘルスケアや医療に関する専門的なゼミと思っていたが、イノベーションの起こし方やキャリアデザインについても深く考えさせられました。OGOG の社会人の方と関わることは知識を学ぶだけはなく、彼らの経験から自分の人生を見直す良い機会になると思います。留学生の方にとっては、日本の医療業界を深く知る素晴らしい機会でした。オンライン授業ばかりの刺激の少ない春夏学期でしたが、このゼミのおかげで、たくさんの収穫ができました！刺激の欲しいあなたにおすすめです！

【2019 年受講者の声】
2019 年受講者 15 名に対して、受講後に「来年の受講生にヘルスケア＆イノベーションゼミを勧めたいか (1～5 段階:1 全く勧めたくない～5 積極的に勧めたい) 」と質問したところ、平均「4.9」というアンケート回答結果をいただきました。

[商学部３年、女性]
ヘルスケア産業って私達一橋生にとってはあまり身近ではないですよね。しかし、私達が 40 歳になるころには日本は老年人口が全体の 4 割を占める国になってしまいます。ヘルスケア産業が今後の日本経済を支える大きな柱であると同時に、日本の社会問題を解決する重要な産業です。そう考えると、文系だから興味ない。。。と切り捨てるのは勿体無いですよね。ヘルスケア業界で活躍している OB のお話を聞いて将来の選択肢を増やしましょう！

[商学部３年、女性]
如水ゼミ何をとろうかと迷ったら、ぜひヘルスケア＆イノベーションゼミを受講してみてください。国立を出て、業界の第一線で活躍している講師の方々が実際に働いているオフィスでお話を伺えるゼミはこのゼミしかありません。また、毎回懇親会を開いてくださるので、講師の方々だけでなく、学生同士の距離も回を追うごとに近くなっていくことも魅力です。学生のためになるものにしようという講師の方々の熱意がとにかくすごいです！
[商学部３年、女性]
得るものがとても多いゼミです。大学ではあまり触れる機会のない、理系のイメージが強いヘルスケア業界で活躍されている文系出身の方々のお話を聞くことができる、貴重な機会です。少子高齢化という問題に大きく関わるこの業界の現状や課題について学ぶことは、私にとって日本社会の

将来について当事者意識を持つきっかけになりました。また、講師の方々のバックグラウンドも多様なので、キャリアについてのお話もたくさん聞くことができ、とても有意義なゼミでした。

[商学部２年、男性]
一橋生に馴染みの少ない医療業界を様々な視点から勉強できる貴重なゼミです。講師の OB の方々は、第一線で活躍されている方で、キャリア・仕事に対する考え方など相談でき、学生生活の茂樹になりました。また、優秀な先輩方を通じて、一橋内での接点が増えコミュニティが広がる機会にもなりました。都会にびびって、国立にこもってる一橋生、そろそろそうゆうのやめません？きっといいきっかけになると思います。

[経済学部４年、男性]
国立を抜け出して都心のオフィスに向かい、業界の最前線で活躍している講師の方々のお話を聞けるチャンスはそうそうないと思う。そして業界理解だけでなく、自分のキャリアや価値観についてもじっくり考えることができるため、是非入学したばかりの1年生や、就活まっただ中であろう 4 年生にも受講してもらいたい。

[経済学部３年、男性]
私はヘルスケアに興味があったというよりも講師の方々の経歴が面白いと思って参加をしました。その期待通り、毎回刺激的なお話を聞けさらにヘルスケア業界以外で働いていた方も多いので他の業界についても知ることができました。何より国立でなく都心でゼミがあるのがテンション上がります！

[経済学部３年、女性]
ヘルスケアというすべての人に関係するけど一橋では馴染みのない業界について学ぶことができるうえ、前講義が一橋のキャンパス外で行われるため、いつもとは違った新鮮な気持ちで講義に臨めると思います。また社会人の方と関わることは知識を学ぶだけはなく、自分の人生を考える良い機会になると思います。如水ゼミでしか経験できない内容がつまったゼミであると思うので少しでも興味があれば入ってみることをお勧めします。

[経済学部　交換留学生、女性]
ヘルスケア＆イノベーションゼミに入った、15 人ともこのゼミは面白いと思っているので、これからこのゼミに参加する人も入ってしまって後悔することは絶対ないはずです。ほかのゼミより日にちは多いが、その分、ヘルスケアという新しい業界をもっと体験することができて、就活とかにも選択肢が広まると思います。ベンチャー会社、企業、厚生労働省などへ訪問できて、偉い立場にいる一橋卒業生の方々の人生経験を伺えるし、相談もできるので、学生の視野から一人の社会人としてこれからできるもの、今準備しておくべきことなどが分かるので、とても貴重で、楽しいゼミでした。外国人留学生もゼミ生たちと仲良くできて、日本の会社について、講師に何でも聞けるので、このチャンスを見逃さないほうがいいです。

[経済学部３年、男性]
ゼミのサブタイトルにも書かれている通り、ヘルスケア＆イノベーションゼミでは、国立キャンパスから飛び出し、現場の第一線で活躍されている OB の先輩方から学ぶことができる。講師陣の熱意に溢れている話を聞き、医療のあり方やイノベーションについて議論すると、ヘルスケア業界の大きさに驚き、その急速に変化しつつある姿に必然的に興味が湧いてしまう。様々な経歴を持つ講師陣と個性豊かなゼミ生から刺激を受け、自身の視野が広がる。こういう経験をしたい人に、是非ともヘルスケア＆イノベーションゼミに参加して欲しい！

[法学部４年、女性]
自らにイノベーションを起こしたい方にお薦めです。「自らにイノベーション」の定義は人それぞれですが、私は自分にとって未知の何かと出会わない限り生まれないものだと考えています。文系単科大学に通う私達一橋生にとって、ヘルスケアという業界は馴染みの薄い分野でしょう。そういった物事に意識的に関心を持ち、何らかの行動を起こすことは、受講者の方々にとって非常に有益だと思います。

[法学部、女性]
講師の方が事前に学生から質問を集めて、その内容に沿って授業を行ったため、一方的な講義ではなく双方的に講師と学生が一緒に授業を作っていく感じだったので、学生も責任感を持って取り組むことができたと思います。ヘルスケア＆イノベーション業界の一流のビジネスマンの方々と密にお話できる機会がもらえてキャリア・人生について話をされることが多く、現実感のある話を多く聞くことができて良かったです。

[社会学部３年、女性]
ヘルスケア＆イノベーションのゼミは、一つの企業が大学で講義するのではなく、製薬会社、調剤薬局、医療機器会社、医療系ベンチャー、厚労省などヘルスケアに携わる様々な分野の方が働く現場に訪問し、総合的にヘルスケア業界の現状や挑戦しているイノベーションについて学ぶことができます。また、医療機器を実際に使うなどこのゼミでしか体験できないことがたくさんあります。

[社会学部３年、女性]
医療・ヘルスケア業界の最前線で働く先輩方から、毎回講義と懇親会を通じて、貴重なお話を聞くことができる、とても贅沢なゼミです！また、実際に会社へ足を運ぶことで、何か持って帰らなければとゼミに積極的に向き合うことができました。医療・ヘルスケア業界が抱えている課題というのは、今後日本で生きていく上で決して他人ごととして捉えることのできない、大きな課題です。この業界に興味ある人はもちろんそうでない人も少しでも受講を迷ったら、是非受けてみてください！

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

【2018 年受講者の声】
2018 年受講者 9 名に対して、受講後に「来年の受講生にヘルスケア＆イノベーションゼミを勧めたいか (1〜5 段階:1 全く勧めたくない〜5 積極的に勧めたい) 」と質問したところ、参加者全員から積極的に勧めたい「5」というアンケート回答結果をいただきました。

[社会学部 2 年、女性]
ヘルスケア産業と聞いてもあまりなじみがなく、どんなことをしているのかピンとこない人が多いと思います。しかし、講義を通して、自分が知らずに受けているヘルスケア産業のサービスやその仕組み、この業界独自の難しさを知ることが出来ます。また、ヘルスケアだけではなく、起業や M&A などのビジネスの側面も先輩方から直接学ぶことのできる貴重な経験になると思います。

[社会学部 3 年、男性]
「医療・ヘルスケア」は、文系の一橋の学生にとっては、馴染みの薄い業界かと思われます。その中で文系がどのように活躍するのか、医療・ヘルスケア業界の全体像について、最前線に立っている先輩から教わることができます。また、毎回オフィスを訪れるため、社会人としてのマナーを学べたり、懇親会もあるため、キャリア設計についてのお話を伺うこともできます。ゼミ生同士の仲がいいことも特徴です。

[商学部 3 年、男性]
医療にかかわる様々な分野において第一線で活躍されている講師陣から、率直な話を聞くことができ、非常に有意義な時間であったとともに、とても志が高く優秀な仲間とも出会えたので、大変満足している。次年度以降も素晴らしいゼミになると思うので、ぜひ受講してほしい。きっと自分の、そして日本の未来について考えるいい機会になると思う。

[商学部 3 年、男性]
私はヘルスケア業界の知識ゼロであまりにもなじみがなさ過ぎたので、逆にどんな世界なのか覗いてみようと思い受講しました。講師の方々は、あえてこの業界で勝負しているだけに信念をしっかり持っていて、皆活気にあふれていました。また、講義形式ではなく、インタラクティブな授業だったためとても楽しめました。実際にこの業界に進む気はなくても、キャリアや生き方を考え直す良い経験になると思います。

[社会学部 3 年、男性]
ヘルスケア＆イノベーションと聞いて、耳慣れないと感じると思います。その“未知“を面白そうと思う人は是非このゼミに参加してみることをお勧めします。教室で講義を聴いているのでは得られない「体験」が、ビジネスの現場で働いているビジネスマンから得られることでしょう。迷ってるなら、いいから来い。

[社会学部 3 年、男性]
ヘルスケアと聞いてもイメージが浮かばない人も多いかとは思います。日本という国に生まれた以上、少子高齢化はどんな人の生活にも影響を及ぼす問題であり、この問題に真向から取り組むヘルスケア産業への理解は、将来どんなキャリアを選択するとしても絶対に無駄にはなりません。そして出会える講師の方々は、最強のキャリアパスを経て現在の立場にある一流のビジネスマンの方ばかりです。

[経済学部 4 年、男性]
おそらく現時点で起業やヘルスケアに興味がある学生というのはそう多くはないのではないかと思います。しかし、講師の方々も決して新卒からヘルスケアや医療に携わってきた方ばかりではありません。自分がまさかそんなものに関わることはないだろう……そういった方も講師の方のキャリアを伺いながら、是非自分のキャリアについて深く考えるきっかけを作って欲しいです。

[社会学部 3 年、女性]
ヘルスケア業界を牽引する素敵な講師の方々と密にお話できる機会は、如水ゼミ以外にはないと思います。毎回の懇親会では講師が学生 1 人 1 人の相談に乗ってくださり、ゼミを通して私自身の人生観も大きく変わりました。また、同じゼミに集った優秀な学生との出会いも魅力の 1 つです！ゼミが終わった今でも時々集まる良い仲間ができました。学生生活に刺激が欲しい人に、ヘルスケア＆イノベーションゼミを強くおすすめしたいです！